Creative Enzymes®

ネイティブヒトアルカリフォスファターゼ

Cat. No. NATE-0947

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	アルカリフォスファターゼ (ALP) は、ヌクレオチド、タンパク質、アルカロイドなどの多くの種類の分子から5位および3位のリン酸基を除去する役割を持つ加水分解酵素です。ヒトでは、アルカリフォスファターゼは全身のすべての組織に存在しますが、特に肝臓、胆管、腎臓、骨、胎盤に濃縮されています。酵素活性の最適pHは標準条件下でpH=10です。
別名	アルカリフォスファターゼ; ALP; ALKP; ALPase; アルクフォス; EC 3.1.3.1; アルカリフォスホモノエステラーゼ; グリセロフォスファターゼ; フォスフォモノエステラーゼ; HL-ALP

製品情報

種	人間
由来	人間の肝臓
外□	ブラウンからタンのサスペンション
形態	液体; 3.1M硫酸アンモニウム中のトリス塩化物、マグネシウムおよび亜鉛の懸濁液、pH 7.4。
EC番号	EC 3.1.3.1
CAS登□番号	9001-78-9
純度	精製された（コントロールグレード）
活性	> 25 U/mL
混入物	AST/GOT: < 10% gGT: < 10% 注: カスタム精製が可能です
最適pH	10
単位定義	1ユニットは、37°CおよびpH 10.35の条件下で、2-アミノ-2-メチル-1-プロパノールの存在下で、1分あたり1マイクロモルのp-ニトロフェニルリン酸の加水分解を触媒します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C
安定性	2年